

静かに、はかなく、舞う 杉山 怜 作品演奏会 2023

楽曲解説ノート

1. 衽下がりに桜の舞い降る

2021 年の春に制作した作品です。ヴァイオリンの旋律的な楽句とピアノの和音的な進行で、桜の舞い降る春の様子を表現しています。ピアノの独奏で始まり、ヴァイオリンの詩的な旋律とピアノの和音的な楽句で進んでいき、よどむように消えて終わりを迎えます。

2. 雨の森で

2021 年 9 月から 11 月にかけて制作した作品です。深奥の青緑の森に雨が降って、ささやかに躍動しているようなイメージを持つ作品です。ピアノはさまざまな連符からなるフレーズを弾き、ヴァイオリンはさまざまな響きを付け加えていきます。

3. 精緻な木片

2014 年に作曲した短い作品です。ヴァイオリンとピアノが同時に演奏される箇所はごくわずかで、ピアノとヴァイオリンが独立してそれぞれの性格をもった場면을展開していきます。ピアノによる機械的な楽句と、ヴァイオリンの断片的な場面からなる作品です。

4. 緑色が水に揺れていく

2023 年の 1 月から 2 月にかけて制作した作品で、本日の演奏会で初演を迎えます。緑色が水に溶けて揺れていくようなイメージをもとに、ヴァイオリンとピアノで生み出される音響がにじみ、溶け合い、まぜ合わさった響きがだんだん薄まっていくような感覚の、短い作品です。

5. 秋の日に

2020 年 9 月から 2021 年 3 月にかけて作曲した、約 15 分ほどの作品です。秋のものの寂しいイメージをもとに、悲哀や現世・来世といった寂滅のような表象を抽象的に表現した作品です。

6. 春々

2022 年の 2 月に制作した作品です。ゆったりとした春の風景やまどろみ、ほろにがさなどを、ヴァイオリンとピアノで表現しています。